



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2013.05.31 No.00751

R I District 2820 CLUB 50504

会長：長友芳郎 幹事：川上 勉 連絡先：TEL 029-863-5326 FAX 029-863-5327 <http://rcrc.web5.jp>
事務所：〒305-0021 茨城県つくば市古来 1451 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【移動例会 05.31】
クラブ創立 16 周年記念
親睦委員会(葵寿司)

次回のプログラム

【移動例会 06.07】
クラブ協議会②
会長幹事(次年度)

5月の主な行事：なし

第 750 回例会報告

点 鐘：長友芳郎会長
ロータリーソング：それでこそロータリー
ゲスト：なし
ビジター：なし

会長報告：長友芳郎



■サウジアラビアの番組で日本の素晴らしさを紹介している。思いやりではガソリンスタンドで給油する時にタオルをあてて油漏れ、傷防止をする。

デパートなどで濡れた傘をビニールに入れる機械があって、床が濡れるのを防いでいる。サウジでは神聖なモスクに入る時にも水で清めた後手足が濡れたままでそのままはっていく。公園においてゴミが落ちていない。綺麗な。家族がベンチに座っていた。お菓子がこぼれて落ちた。食べられなくなったそれを皆で拾った。信じられない。奇跡だ。とコメント さらに持ち帰ったというのだ。謙虚さの原点は小学校にあると言っている。決められた靴箱にきちんと入れる。サウジでは大人がモスクに入る時も靴箱があるのに無造作に脱ぎ捨てる。日本では掃除を清掃人ではなく子供達自身でやっている。世界の認識では清掃は奴隷のやる仕事とされている。床に這いつくばって雑巾掛けをしている。信じられない。こんな国民が傲慢な態度を取るだろうか、だからみんな謙虚なんだ。とコメント

これをサウジで実践するためにレポーターが教育大臣のファイサル王子に進言し採用されて子供の家庭での態度が良くなったと評判を呼び掃除を採用する小学校が640校になっている。当たり前と思っていることが外国からみると信じられない素晴らしさを持つ日本。ロータリーの Service は実は日本人のお家芸であるのかもしれない。

幹事報告：川上 勉



■15周年事業

1日目：成田空港着13:15 第一ターミナル北ウイング 12：00市役所集合、市役所のバスと乗用車1台で迎え に行きます。(バス同乗者一名、他数名)
16:00頃 流通経済大学到着予定
18:00よりウエルカムパーティ開催 (90分)
2日目：午前中Guam Teamと龍ヶ崎Junior Teamとの交流 昼食
14:00 流通経済大学VSグアムチーム親善試合 ※流通経済大学ラグビー部へお任せですが、諸々手伝い及び観戦をお願い致します。
3日目：8:00流通経済大学出発 ※見送り

■RI日本事務局の移転 2013.05.27より
〒108-0073 港区三田1-4-28 三田国際ビル24F
03-5439-5800：クラブ 地区支援室(奉仕室)
03-5439-5805：財団室
03-5439-5803：経理室
03-5439-5802：資料室
03-5439-0405：FAX 共通番号
勤務時間：午前9時30分より午後5時30分まで
アクセス：都営地下鉄大江戸線「赤羽橋」より3分

本日のプログラム

ロータリーの道徳と職業倫理

横山善英



■大変な題材を自分に課し、大変後悔しています。

ロータリーの目的は、言わずとも皆様ご存知のとおり「綱領」が存在しそれに謳ってあります。何事においても、まず、団体に所属するならば「目的」に沿って活動するのが筋であり、商法においても定款の目的以外の営業を行なうと商法違反となり罰せられることとなり、とても重要なことです。

それではロータリーとはどんな団体なのでしょう。それは過去に何度も勉強してきましたが、綱領から引用すると「有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹育成する団体」とも言うのが正しいかも知れません。RIは「ロータリーとは**人道的な奉仕**を行い、あらゆる職業において高度の**道徳的水準**を守るとを奨励し、かつ世界における**親善と平和**の確立に寄与することを目指した実業人および専門職業人が世界的に結び合った団体である」と表現しています。ロータリーとは、日々の仕事を通して世の中に貢献するために、奉仕の心を育て向上させる団体であり、単に奉仕団体という呼称は相応しくないと感じるのも頷けることと存じます。

■呼び名は兎も角、ここで大事なことは、ロータリアンは**日々の仕事を通して生きる力の根本である自らの道徳的能力を高め、それを社会に反映させることを責務と考えて努力している**ということです。即ち、ロータリアンは**日常の職業活動を通して、自分の職場の従業員、取引先の人達やその関係者、ひいては地域社会の人達の模範となり、生きる力の根源である道徳的能力を向上させることに努めている**のです。このような仕事の仕方をロータリーでは、**職業奉仕**と呼んでいます。皆さんが真のロータリアンであるか否かは、皆さん自身とその職場が社会の模範となるように努力することを自己の責務と考えているか否かにかかっているのです。

継続は力なりと申します。私は、このロータリーの職業奉仕の考え方こそが最も職業経営に不可欠なものであり、多くの時間と多額の授業料を費やす所以なのであります。

この職業奉仕の理念は、1915年サンフランシスコ大会で「ロータリー倫理訓（道徳律）」として表現されました。この条文をから当時のロータリアン課せられた状況を汲み取ることが出来ますが、かなり質の高い道徳観を要求していたようです。

■もう一つ取り上げて置きたいのが決議23-34であります。手続要覧では第8章社会奉仕の欄に記載してありますが、三大奉仕部門に分類されたのが1927年、四大奉

仕部門が翌1928年であることから、1923年には「綱領に基づく諸活動に関するロータリー方針」と呼ばれ、1926年に「社会奉仕に関するロータリー方針」に改正された点を考慮すると、度重なる災難を乗り越えた決議23-34は、ロータリーの理念も数多く含まれていることから、社会奉仕に位置づけられるのは些か疑問が生じる点でもある。因みに財団でも話題となる第4項、プログラムの継続性は決議64-43の追記であり、第6項(c)、正しい広報は決議66-49である。よって、社会奉仕の実践に限定した決議92-286のみが社会奉仕の欄に相応しいのは、誰もが感ずる所であろう。



■例会後、どうして道徳律が必要になったのか質問があった。亀尾会員によると最大の原因は「Service not Self」であるらしい。私は必要となったというよりも、第6条において過度の負担をロータリアンに強いる過ぎたのではないかと考える。一説には、あまりの互恵主義に奔るロータリアン対し、「自分だけでは駄目ですよ。他人に対しても奉仕をしなくては。」と諫めたという話も聞いていますが、自己犠牲による奉仕理念ではかなり無理があるものと考えられます。即ち、第11条の黄金律の教えと並び道徳律としては、あまりにも宗教的な要素を含んでおり、ロータリーの意図する理念から外れていると認識され始めたのでありましょう。

■クラブ親睦委員会

親睦ゴルフ大会を開催します。

日時：5月31日・金曜日 08:15～

場所：ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎



■出席状況

会 員	16 名	出席率	75.00 %
出 席 者	9 名		
出席免除者	2 名	Make-up	3 名
定款第9条3節a	1 名		

■ニコニコボックス（目標額 600,000 円）

本日 5 件 7,000 円（本年度累計 382,000 円）

荒木会員：何も出来ないロータリアン出席できました
海老原会員：最高の日です。

川上会員：6月1,2,3宜しく願い致します。

城出会員：次年度方針で来年はすべて決まります。

横澤会員：暑いすねー!! 来週は夜例会欠席です。

理事長送別会のため。

横山会員：暑いけど「爽やか」です。このままで！

例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに 城出 SAA
TEL 0297-66-3258 に連絡して下さい。